

社会科学習指導案（地理的分野）

1 単元名

世界各地の人々の生活と環境

2 単元の考察

本単元は、学習指導要領地理的分野「内容」（1）の「世界の様々な地域」イ「世界各地の人々の生活と環境」にあたる、「世界各地における人々の生活の様子とその変容について、自然及び社会的条件と関連付けて考察させ、世界の人々の生活や環境の多様性を理解させる」ものである。

紛争やテロなど、多くの問題を抱える現代の国際社会において、異なる地域や国の人同士が衝突する一因となるのが「価値観の相違」である。ある地域では当たり前のことが、他の地域では非常識であることも少なくない。そして、その価値観の相違は、生まれ育った地域の地理的条件、つまりは「環境」に起因すると考えられる。環境には気候や風土などの自然環境と、そこから発生する文化や宗教、産業などの社会的環境が挙げられる。ポピュリズムの台頭や自国中心主義の流れが加速する中で、国際的な紛争や対立をなくしていくために、それぞれの価値観の違いを理解することが必要である。そのためには、「なぜそのような価値観になるのか」を理解しなければならず、価値観が生まれる背景にある自然環境や文化の違いを理解する必要がある。

本単元では価値観の背景にある「環境」を、各気候帯に住んでいる人々の生活の様子などの自然環境や、習慣や文化などに触れて学習することで、人々が様々な条件のもとで多様な生活をしていることに気付かせることを目標としている。暑い地域、寒い地域、山岳地域など、その地域の気候を雨温図や写真資料の読み取りから学習し、自然環境とそれに関係する衣食住を事例として取り上げることで、人々の生活と環境との関連を理解させたい。その際、視聴覚資料を活用することで、同じ地域の過去と現在の比較を行い、時代が進んでいく中で他文化と関わり合い変化していることに着目し、人々の生活は可変的なものであることに気付かせたい。

本時の学習では、人々の生活と宗教の関わりに着目する。人々の生活には、習慣や文化が深く関わっている。我々日本人においても、お墓参りや初詣など毎年の恒例行事として行っていることも宗教と関わりがあり、日本人の生活にも宗教は深く関わっている。生徒は、歴史的分野「宗教のおこりと三大宗教」において、三大宗教のおこりを学んでいる。歴史的分野では、三大宗教がどのようにおこったのかを中心に学習した。そこで本時では、歴史的分野の学習を踏まえ、宗教が人々の生活とどのように関わっているのかを学習していきたい。

本時では、その中でも特にイスラム教を取り上げる。イスラム教を取り上げる理由としては、①日本人にとってなじみの薄い宗教②近年ニュース等でも話題になっているためである。アラビア半島で誕生したイスラム教は「コーラン」による厳格な戒律を特徴としており、戒律は人々の生活に深く関わっている。本時の学習では、イスラム教徒の一日の流れを追い、「コーラン」に示されている一日5回の礼拝や服装、食生活の中から、

イスラム教で禁止されていることをいくつか取り上げ、なぜそのような戒律が誕生したのかを考える。厳しい戒律が故に、生徒はそれらの戒律を「不条理なもの」や「前時代的な考え」、「差別的な思想」と捉えがちであるが、背景にはその土地の厳しい自然環境や、そこで生きていくための知恵などが関係していることに気付かせる。

世界には互いに相容れない宗教的な価値観もあるが、それらを是非の問題で捉えることはできない。それぞれの文化を容易に比較することはできず、宗教は各地の人々の生活に深く関わり、信仰する人たちにとって大切なものであることに気付かせたい。

3 指導計画（計10時間完了）

時	学習内容	学習活動	評価基準
1	世界の様々な住居	○各地の自然環境の特色を、それぞれの土地で暮らす人々の伝統的な住居の写真から読み取る。	○自然環境が異なる地域の人々の生活を写真から追求することで、世界地理の学習に対する興味・関心を高めることができたか。 (関・意・態)
2	雪と氷の中で暮らす人々	○寒帯地域の伝統的な生活を理解し、現在の暮らしがどのように変化してきたか考察する。	○過去と現在のイヌイットの生活を比較し、その変容がどのような条件によるのかを考察し、文章にまとめることができる。 (思・判・表)
3	寒暖の差が激しい土地に暮らす人々	○冷帯地域の自然環境と、そこで暮らす人々の生活の工夫を理解する。	○写真や映像資料、雨温図などから、日本の自然環境との違いを読み取ることができる。 (技能)
4	温暖な土地に暮らす人々	○日本と同じ温帯地域でありながら、日本とは異なる自然環境や生活の特色が見られることを理解し、その原因を理解する。	○温帯の気候で生活している人々の暮らしを、自分たちの生活と比較しながらその特色を考察し、その結果を表現できる。 (思・判・表)
5	乾燥した土地に暮らす人々	○乾燥帯地域に自然環境と、そこで暮らす人々の生活の工夫を理解する。	○乾燥した地域で暮らす人々の生活や文化が生まれた背景と変化の過程について、自然的条件や社会的条件を踏まえて考察している。 (思・判・表)
6	常夏の島で暮らす人々	○熱帯地域の自然環境と、そこで暮らす人々の生活の工夫を理解する。	○自然豊かなフィジーで、観光や地域開発のために、その自然を破壊するなど、地域特有の課題があることに気づき、その解決へ向けて関心をもっている。

			(関・意・態)
7	標高の高い土地に暮らす人々	○高山気候の地域の自然環境を理解し、そこで暮らす人々の生活への疑問をもち、その課題を解決しようとする。	○高地に暮らす人々の生活やその変化を、様々な資料を活用して意欲的に学習し、興味・関心を高めようとしている。 (関・意・態)
8	人々の生活に根付く宗教	○世界には様々な宗教や、宗教と関わりの深い生活習慣があることを、日本の社会と比較しながら理解する。	○宗教ごとの違いを理解し、日本人との関わりや日本の社会との違いを理解している。(知・理)
9	イスラム教を通して、人々の生活を見よう (本時)	○人々の生活は、宗教と関わっていることを、イスラム教の戒律を通して考える。	○イスラム教の戒律の背景を考える活動を通して、人々の生活には様々な要因が関わっていることを理解する。(思・判・表)
10	伝統的な生活とその変化	○世界の各地域では、その地域の環境に適した社会や暮らしが営まれていることを、自然環境や社会的環境の違いを踏まえて理解する。	○世界各地では、環境との関わりや様々な条件のもとで多様な生活が営まれていることを、自分たちの生活との比較や、地域における過去と現在などの比較を通して考察している。 (思・判・表)

4 単元の目標

- (1) 世界の人々の生活の多様性を生み出している自然的条件および宗教や伝統的文化などの社会的条件に対して関心を高めている。(関心・意欲・態度)
- (2) 世界各地の人々の生活と環境の多様性について、自然的条件および社会的条件と関連付けて、自分たちの生活と比較しながら考察し、その過程と結果を表現している。(思考・判断・表現)
- (3) 世界的に広がる主な宗教の分布の様子を主題図から、気候の違いを雨温図などから読み取っている。(資料活用の技能)
- (4) 世界各地のさまざまな宗教やその広がり、宗教と関わりの深い生活などについて大まかに把握し、具体的に説明できる。(知識・理解)

5 本時の指導

(1) 題材名

イスラム教の人々と戒律

(2) 本時の目標

- ①宗教と人々の生活との関わりについて関心を持つことができる。
(関心・意欲・態度)
- ②グループ活動を通して、イスラム教の戒律の背景を考える。
(思考・判断・表現)

(3) 本時の展開

時配	○学習活動 ●教師の発問	○教師の支援 ◆評価
5	3分	○ワークシートを配布する ○礼拝が多いことに気付き、生活の一部になっていることを確認する。 ○一日の流れはパワーポイントで提示し、礼拝を穴埋めにしておく。
	2分	
5	5分	○導入の一日の流れから、食事、衣服に注目し、衣食住で禁止されていることは何か知っているか問う。 ○この後の話し合いにつなげるため、生徒の発言がない場合は教師が提示する。 ○戒律はパワーポイントで画面に映し、写真で黒板にも張ることで、生徒がいつでも確認することができるようにする。
	20分	

40	<p>う。 「グループ、話し合い」</p> <p>●なぜそのような戒律があるのか、考えてみよう。</p> <p>☆スカーフをしているのは、やっぱり乾燥地帯だし、日焼けから肌を守るためじゃないか。</p> <p>☆でも、場所によって服装も若干違う。</p> <p>☆一夫多妻制なのは、男性の方が少ないから。</p> <p>○各グループごとに発表する。</p> <p>「グループ、発表」</p> <p>☆豚は生で食べてはいけないと言うし、イスラム教の地域は暑い地域が多いから、衛生的に良くないと思った。</p> <p>☆断食があるのは、食のありがたさを知るためだと思った。</p> <p>○厳しい戒律だが、その地に住んでいる人々の知恵が背景にあることを知る。</p>	<p>分け、3班ずつに与え、班で考えさせる。その際、ホワイトボードを配布し、班の意見をボードに書かせる。</p> <p>○資料は、教科書、地理資料集、地図帳のみとする。</p> <p>○服装の違いについては、サウジアラビアとインドネシアの女性の写真を提示し、視覚的に違いがわかるようにする。</p> <p>○発表は代表者に行わせる。</p> <p>○発表の終わった班は、意見をまとめたホワイトボードを、黒板に提示した戒律の下に貼らせる。</p> <p>◆イスラム教の戒律の背景について、積極的に話し合いに参加することができているか。 (話し合いの様子)</p> <p>【関・意・態】</p>
5	<p>5分</p> <p>○振り返りを振り返りシートに書き込む。</p> <p>「個人、記入」</p> <p>☆肌を隠すのは、その地域の気候に関わりがあったことがわかった。</p> <p>☆人々の生活には、色々な要因が関わっていることがわかった。</p> <p>☆一見厳しいけど、そこに住む人々のことを考えた戒律なのだと知った。</p>	<p>◆宗教の教えが、生活に深く関係し、人々はそれをしっかり守りながら生活していることに気付くことができている。 (振り返りシート)</p> <p>【思・判・表】</p> <p>○このような伝統的な生活に変化が生じてきていることを伝え、次時への意欲付けを行う。</p>

(4) 本時の評価

①写真資料や級友との話し合いを通して、宗教と人々の生活の関係について関心をもつことができたか。

(社会事象への関心・意欲・態度)

②グループでの対話的な活動を通して、イスラム教の戒律の背景を厳しい自然環境などと結び付けて考えることができたか。

(社会的な思考・判断・表現)